

# 道の駅に関する調査

## 特別委員会報告

調査特別委員会に付託された調査事件について最終報告を行い、12月定例会において全会一致で承認されました。

委員長 門馬 巧

### 調査に至った経緯

町が道の駅登録を指し進めていた造成工事において、事前の地質調査で一部と見られていた硬い岩盤が工事の途中で広範囲に及ぶことが判明し、施設の整備工事を凍結せざるを得ない状況となった経緯について、町議会としても施設整備に向けた事前の地質調査が適正に行われたかどうかを検証する必要があると判断し、道の駅に関する調査特別委員会が令和3年第3回広野町議会定例会において設置された。

これまで、9回にわたり道の駅に関する調査特別委員会を開催し、土砂採取前のボーリング調査が適正に行われていたかなどを中心に調査したが、このたび、本委員会における調査を終了するにあたり、その結果を報告するものである。

### 調査の結果

本委員会は、町が道の駅登録を目指す施設の整備計画を休止した経緯について、原因を明確にするため、土砂採取前のボーリング調査が適正に行われていたかなどを中心に調査した。

令和3年9月28日開催の第1回委員会以降、適宜委員会を開催し、ボーリング調査に関する資料をはじめとして、道の駅に関する予算・決算資料、土質調査計画、立木補償単価に関する資料等の収集、調査項目、調査方法等についての協議、加えて、土砂採取工事が開始されてから現在までに建設課長を務めた3課長を招集し、ボーリング調査の概要や双葉断層帯との関連性から岩盤出現の予測ができなかったか、また調査結果の判定に誤りはなかったかなどについて、聞き取り調査を実施した。

さらに、当初の地質調査を行った事業者、並びに土砂採取工事をを行った事業者を招集し、本事業におけるボーリング調査の期間、調査箇所数、選定場所等について適正であったかどうかを事業者の見地から意見を伺った。これまでの調査結果から、今回の局所的な岩盤の出現は、想定外のもので特異な現象であり、ボーリング調査の内容は、全体的な地質条件を把握できるよう、効果的にボーリング本数が設定され、地表地質踏査や弾性波探査を組み合わせて実施していることから適正であったことを確認した。

また、調査結果による執行部の判断についても、ボーリング調査で得られた資料の中には数十センチの厚さで硬い岩盤が確認されたものの、連続性がなく、圧縮強度試験の結果も軟岩を示す範囲の強度であったため軟岩の判

定となり、弾性波試験でも軟岩を示す範囲の速度結果しか確認されておらず、判断に誤りはなかったものと確認した。しかし、ボーリング調査が十分、かつ適正であったにもかかわらず、こうした問題が発生したことについて、未だ納得できないことから、委員会として今回の事案は特異な現象であったことは理解したが、町執行部に対し、事業休止に至ったことについて反省するとともに、二度とこのような問題を発生させないための改善策を明確に示すよう求めることとした。

防災拠点道の駅整備事業については、平成28年5月16日の第1回から令和2年8月18日まで、17回にわたる産業厚生常任委員会中、当該事業については、誰一人ただの一回も賛意を述べる方はいなかった。

そのれにも拘わらず、この事業が進捗してしまっただけは、本町の議会は本会議制を敷いているので、委員会においては賛否の集約を採ることができないので、幾度となく歯がゆい思いをしてきたか分かりませんが、それが現実である。

故に今となっても思うのは、町長におかれましては、我々の意見を真摯に受け止め事業ありきでの行政運営を改めていけば、この様な結果にはならなかったのではと思うと返すが、えすも残念でならない。しかし、我々議会としても、発生土の関連から富岡町との契約の関係上、土砂採取に係



道の駅整備工事が凍結した工事現場

回	開催日	主な調査内容
1	令和3年9月28日	調査をするために必要な資料の検討・要求資料の確認
2	11月11日	資料を基に、調査項目・調査方法について協議
3	令和4年1月27日	土質調査計画、立木補償単価等の追加資料について協議
4	2月28日	担当3課長からボーリング調査について意見聴取
5	5月26日	工事に携わった事業者から意見聴取
6	6月16日	土取り工事に関する富岡町との契約資料の請求について
7	8月9日	富岡町との「発生土の引渡しに関する協定」について
8	11月17日	特別委員会の調査報告について
9	12月2日	特別委員会の調査報告について

### その他の可決議案

- 議案第71号 広野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第72号 町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第73号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

この現実を町民にしっかりと説明責任を果たしてもらい、跡地の有効利用についても早急に方向性を見出されることを強く求め、道の駅に関する調査特別委員会の最終報告とする。

### 第4回臨時議会

10月31日に第4回臨時議会を開きました。電力、ガス、食料品等（灯油等を含む）の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯等）に対し、一世帯あたり5万円を支給するための費用が計上された一般会計補正予算を可決しました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	3094万円	69億6545万円
内容		
●臨時特別給付金事業		3094万円